

【分野名：医学系】

大 学 名	藤田保健衛生大学
拠点のプログラム名称	超低侵襲標的化診断治療開発センター
中核となる専攻等名	医学研究科内科系専攻
拠点リーダー氏名	浅野喜造

《拠点形成計画の概要》

臨床医学における診断・治療法の問題点を克服し、分子・細胞・組織レベルでの標的化診断・治療技術を創出・実用化することを目標とする。この目標を実現するため、建学時からの「独創一理」の理念に基づき大学・学長は教育研究の実施評価システムを整備し、780 m²のスペースに超低侵襲標的化診断治療開発センターを設立する。

当センターでは、これまで本学総合医科学研究所で開発してきた臨床応用可能な技術シーズである人工抗体、tissue targeting、人工染色体、ゲノム解析技術（図）と、日本有数規模の大学病院を来診する患者のニーズと臨床情報を融合して共同研究を押し進め、新しい概念の診断治療法を確立する。さらに国際的評価に耐えうる臨床研究を成し遂げることでできるリサーチマインドを持った後継研究者・医学者を育てる。本センターを拠点として整備することにより確立できる新しい診断・治療法をもとに世界最先端の医療を実施し、その成果を社会に還元する

